

Kandai Style

2021.12 Vol.494
関西大学通信



留学の新たなカタチ

つながり方はさまざま

留学の新たなカタチ

海外に行くことなく、日本で留学する「オンライン留学」—実際はどんな感じなのか、知っていますか？
留学は海外の文化や言語を学ぶことだけではありません。国内の大学と関西大学の間で交流する「国内留学」という制度もあります。今月号の特集では、オンライン留学、国内留学の経験者にインタビューを行いました。

オンライン留学

オンライン留学の最大の特徴は、自分の好きな場所から、海外とつながり学べること。渡航費や滞在費が不要になり、経済的な負担を抑えられるのも魅力です。今年の夏休みには英語や中国語、韓国語などの各種語学プログラムのほか、SDGsをテーマとしたものや就業体験プログラムなども実施されました。来年の春休みにも各種プログラムが用意される予定です。

こんなメリットも!

学びと体験をより実り多いものにするためにプログラムの前後に研修が用意されています。事前準備と事後の振り返りを体系化して受講することで、より深い「学びと成長」を得る機会にしましょう。

支援金を支給、もしくはプログラム費が免除になるなど、すべてのプログラムにサポートがあります。また参加者には、検定試験受験料を補助します。

とにかくお得!
気軽にトライ
してみよう!

関西大学留学・国際交流サポート GLOBAL NAVI

国際的な学びに興味がある人に役立つ情報が満載。ウェブサイトにアクセスし、自分に合うプログラムを探してみましょう。オンライン留学を経験した学生留学アドバイザーに相談することもできます。

留学の情報が盛りだくさん



法政大学との国内留学

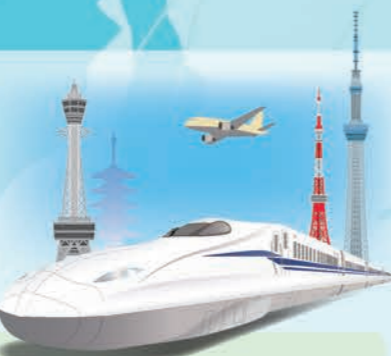
2021年度から法政大学との国内留学プログラムが始まりました。このプログラムは学生交流協定に基づき、所属する大学を離れ、1年間または1学期間、交流先の大学で学べる制度です。異なる環境で文化や風土を学びたい人、別の視点から学ぶことで自分の専攻をさらに深めたい人におすすめです。

おすすめポイント

- 授業料は関西大学に納めることで相殺されますので、新たに支払う必要はありません。(滞在費や交通費などは自己負担です)
- 留学先で修得した単位は、所属学部で審査のうえ、単位認定します。

2022年度の国内留学 申し込み受付中

2022年度に法政大学で1年間もしくは1学期間学びたい人は窓口まで申し込みください。



出願期間

12月10日(金)まで

問い合わせ窓口

千里山キャンパス教務センター
総合情報学部オフィス
ミューズオフィス
堺キャンパス事務室



韓国 慶北大学の留学プログラム

KNU Online Summer School

文学部2年次生 西川 紗加さん

絶対にレベルアップするという決意

海外渡航経験がなく、大学生の間に留学や旅行に行きたいと思っていましたが、今年も難しそうでした。オンラインでも外国の文化に触れたいと感じて応募しました。

実は今年の1月にも同じプログラムの初級クラスに参加しました。そのときは会話についていくことができず、悔しい思いをしました。その思いをバネに勉強し、夏は中級クラスにレベルアップ。学生同士の会話量も増えましたが、ついていくことができました。



オンラインは語学力を伸ばしたい人におすすめ

授業の録画を送ってもらえるので、授業中に分からなかった部分をしっかり復習できます。作文の宿題が毎日あり、現地の学生の方に相談しながら進めて「書く力」も伸びました。グループワークでは、韓国でよく使われているアプリや身近な話題で盛り上がり、バーチャルツアーでは本当に街歩きをしているようで、楽しく学べました。

毎日、午後のほとんどを留学に費やす濃い内容でしたが、あっという間に過ぎ、修了後は達成感でいっぱいでした。今も独学で勉強を続けています。ドラマの会話が聞き取れるようになったり、K-POPの歌詞の意味が分かったり、新たなうれしい発見があります。語学力を集中的に伸ばしたい人にオンライン留学はおすすめです。



実際に行きたい
思いが募ります!



将来は海外で
働きたい!



アメリカ ミシガン州立大学 (MSU)との連携プログラム

Online Global Mindset Program

外国語学部4年次生 見奈原 廉さん

日本人としてのアイデンティティを磨く

大学では異文化間コミュニケーションについて勉強しています。日本人だけで学ぶのではなく、異なる文化や価値観を持っている人と学びを深めたいと考え、応募しました。イギリスでの留学経験はありましたが、アメリカには行ったことがなく、アメリカ英語に興味があったのも応募理由の一つでした。

今の日本は海外からの観光客が減り、英語を話す機会も減っているので、MSUの学生と交流しながら英語に触れられる機会は貴重でした。また実際に海外で働いておられる日本の方の話聞いて、将来のビジョンがよりはっきりしました。英語を勉強するだけでなく、相手の考え方とどこが似ていて、どう違うのかを理解し、そうして学んだ多様な価値観を通して、日本人としてのアイデンティティを磨いていきたいと思っています。

意外と緊張せずに参加できるオンラインプログラム

オンラインでは、話す相手とリアルに目線が合うわけではないので、細かい反応やニュアンスを読み取りにくく感じることもありましたが、でも自分の生活リズムを保ちながら参加できるからなのか、意外と緊張せずに過ごせました。今は将来を見据えて、旅行関連の資格に向けて勉強中。今回の経験をしっかり自分のものにしていきたいです。



法政大学

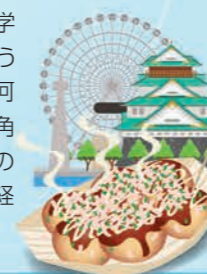
関大社会学部に国内留学中



法政大学現代福祉学部2年次生 飛内 瀬南さん

コロナ禍だからといって何もできないわけじゃない

臨床心理士に興味があり、出身の青森から大学入学と同時に上京しましたが、東京では思ったような学修や活動ができず、自分が学びたいことは何なのかを見つめ直しました。関大にはさまざまな角度から心理学を学ぶことができる授業が多く、この制度に応募しました。同じキャンパス内で企業の経営や戦略などについて学べるのもよかったです。



お笑いは至るところで感じられる

関大ではバレーボールサークルに入り、友達が増えました。みんな本当にノリがよく、まるで吉本新喜劇のような言葉の掛け合いに聞きほれてしまうことも。自分自身が「ツッコミ」を受けると、とてもうれしいです。笑いと文化について学べる大学の授業も楽しく参加しています。

地域に根差した暮らしや文化を楽しむ

休日は街巡りをしています。京都では歴史的建造物や付近の街並みの美しさに感動し、大阪ではアメリカ村や心斎橋などそれぞれの地域性や文化を感じられて、とても刺激を受けます。留学期間はあとわずか。好きなことを見つけるために始めた関大での学生生活の中で、友達と関わったり、文化に触れたりして、どんどん好きなことが増えています。将来は好きなことを通じた仕事を望んでいます。



わたしが取り組むSDGs

みんなで一緒に考えよう。
関大誌上教室

2015年9月の国連サミットで採択された持続可能な開発目標(SDGs)。本学でもさまざまな取り組みがスタートしていますが、学生の皆さんにおいてもSDGsに関心を持ち、実際に自宅やキャンパス内外で新たな取り組みを始めている方が増えていると思います。

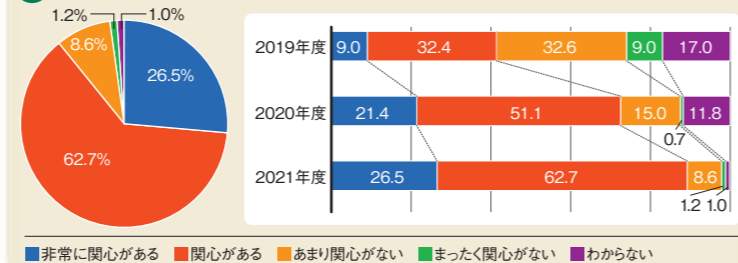
今月号の誌上教室では、「わたしが取り組むSDGs」をテーマに個人で行えるSDGsを紹介します。

SDGsへの関心度は2年間で約2倍に!

2021年6月~7月に本学で行われた「SDGsに関する意識調査」によれば、「非常に関心がある」「関心がある」を合わせると約9割の学生が関心を寄せています。

これを経年比較すると、最初にアンケートを実施した2019年では「非常に関心がある」「関心がある」を合わせて41.4%。それが2020年は約1.7倍に増え(72.5%)、今回は89.2%という結果となりました。わずか2年間で、約2倍の学生がSDGsに関心を持ったこととなります。

SDGsについてどの程度関心がありますか。



文学研究科
博士課程 前期課程
1年次生
ルアン格さん

SDGsにつながる「葦で作るカゴ」

中国の東北地方にはたくさんの湖があり、その近くには葦が生い茂っています。葦は剪定をしないと水生動物の棲息地に影響を及ぼしますので、毎年、冬が近づくとその葦の処理に困っています。そのため、近年中国では葦を使って籠を作ることがはやっています。

今年の夏、親戚のおばさんからその葦を使って籠を作ること教えてもらった時に、この籠作りは、環境にやさしくて、同時に廃物利用にもなるのだと思いつきました。



硬い茎、葉、花を上手に編みたい

これまで新聞紙で花瓶などを作ったことがありましたので、葦で籠を作るのもそんなに難しくないと思っていましたが、全くの見当違いでした。葦の茎、葉、花はどれも硬くてうまくいきません。また、茎にはとげがあって、手に刺さります。私はまだ上手に編むことができませんので使い捨ての籠しか作れませんが、はやくオリジナルの籠を作りたいです。

葦で籠を作ることは、SDGsにおいては本当に小さなことですが、廃物利用という考え方が普及すればビニール袋(プラ製品)のごみが削減されるのではないのでしょうか。レジ袋が有料化になった今、バッグを持参する方が増えましたので、葦で作った籠を一つの例として私はSDGsにもっと力を入れて取り組みたいと思います。



小さい頃から教えられたモノを大切にすること

小さい頃からモノを大切にすることを教えてもらいましたので、今ではエコバッグやマイボトル、マイ箸を持参することはもちろんのこと、モットイナイ精神で無駄遣いをしないようにしています。中でも最近気になることは、食品ロスです。日本では食べられるにもかかわらず捨てられる食品が多いのに、世界では食べたくても食べることのできない子どもたちがいるなどすごく矛盾しています。卒業論文ではこの問題を切り口に私たちに何ができるのかをまとめていく予定です。

一人で行えることは小さいことだからといって、「ちょっとぐらいいいや」と利己的な考え方に陥りやすい人は多いと思いますが、SDGsの視点に立ち、より良い世界をつくるために何とかしようという意識を持てばこれからどんどん変わっていきけると思います。



政策創造学部
4年次生
伊藤奈緒さん

紙ごみの種類の多さに驚きました

約1年前にテレビでSDGs特集を観たのがきっかけで紙のリサイクルを始めました。リサイクルを始めると、リサイクル紙がたくさん流通しているのが分かったり、お菓子の包装紙や紙袋など今まで気が付かなかった紙にも♻️が付いているのに気付くようになりました。おかげで日常的に♻️を確認する習慣が付いたような気がします。

1週間でたまるリサイクル紙は小さな紙袋にいっぱい程度ですが、紙の分別を通してSDGsは周りの皆さんの協力なしには実現できないものと感じました。お互いに協力し合うことで、一人ひとりの行動は小さくてもSDGsにつながると感じます。私自身、地球環境に配慮した製品をもっと使おうという気持ちが芽生えてきています。



法学部
2年次生
堤 陽菜さん

皆さん、「ECOSIA」(エコシア)をご存知ですか

2009年、ドイツで設立された検索エンジン「ECOSIA」は、検索する際に得られる広告収入を使用して世界中で植林活動を行っています。私も昨年友達から教えてもらうまで知らなかったのですが、エコシアの活動が木を植えることで環境を保持増進しているものと理解し、利用を始めました。

click45回で1本の木が植えられる

環境問題で一番気になるのがCO2の数値です。通常検索エンジンを利用するとCO2はおよそ0.2g排出されます。エコシアではソーラーパネルを利用して、100%再生可能エネルギーによって電力が供給されていますので、CO2の削減に大きく貢献しています。またエコシアではclick45回で木が1本植えられます。私の週間click回数と同じ数ですので、あまり実感はありませんが、私も1週間で1本植樹していることになり驚いています。

SDGsは環境問題に限らず、世界中で何が起きているのかを正しく知ることが大事です。その内容を友達と意見交換しながら、私自身にとって何が大切かを見極めていきたいと考えます。



法学部
1年次生
白谷千馬さん

ワンワールドフェスティバルから気付いたSDGs

高校2年生の時、先生に勧められたワンワールドフェスティバルfor Youthに参加しました。このフェスティバルは「国際協力、SDGs、多文化共生」という分野の課題解決に向けて行動のとれる若い世代の育成が目標で、何か新しいことを始めたかった私にとってはSDGsを知るよいきっかけになりました。また、ボランティアリーダーを務めたおかげで、非常にやりがいを感じました。

世界問題に関心を持つことで考え方が変わる

イベントをお客様に最後まで楽しんでもらうためには工夫が必要で、私たちはSDGsに関するスタンプラリーを実施しました。そこでは関西圏のSDGsや世界的な問題を発表するポスターセッションが行われ、「ジェンダー問題」をテーマとした際には男性、女性の立場にたった高校生の率直な意見が聞けて非常に興味を持てる内容でした。

現在、大学生として高校生を支援している立場から言えば、皆さんにSDGsの知識を蓄えてほしいと思います。世界各地で起こっている問題に関心を持つだけで考え方が変わります。私も含めて皆さんSDGsについて勉強しましょう。



法学部
1年次生
濱田優也さん



PROFESSOR'S COMMENTS

副学長(SDGs担当) 高橋智幸教授(社会安全学部)

SDGsでは「Leave No One Behind(誰一人取り残さない)」と宣言しています。どうすればできるのでしょうか。とても難しいことではありますが、みんながSDGsに取り組んでいく

ことが一つの答えです。SDGsは誰かがどこかで取り組んでくれるものではありません。我々一人ひとりが自ら取り組んでいくことが重要です。

SDGsには17のゴールと169のターゲットがあります。一度、全体を眺めてみてください。身近にある問題や気になっていた問題、新たに気付かされる問題などがたくさんあるでしょう。そして、やってみたい取り組みにきっと出会えるはずです。大規模

で時間がかかる取り組みもありますが、気の合う仲間とグループを作って始められる取り組みもあります。初めから難しいことを目指さなくても良いのです。できることから始めてみましょう。

関西大学では実に多様な取り組みを行っています。ここですべては紹介できませんので「関大SDGs」で検索してみてください。あなたが取り組みたいSDGsのヒントがあるかもしれませんよ。

今回のテーマは...

「効果あり?!ウワサの健康食事法」

2022年1月号では、食生活に関する意識調査を行い、グルテンフリー、シュガーフリー、無添加食品など健康に良いと言われている情報を、関大生はどのように受け止めているのかを考えます。



エンターテインメント業界／プロサッカー選手



サンフレッチェ広島

荒木 隼人さん

広島県立吉田高等学校出身
2019年商学部卒業

過去の悔しさや失敗がエネルギーと
なって未来を変えてくれる

経験を糧にいつも全力を出し切っています

広島市を本拠地とするJリーグチーム・サンフレッチェ広島に所属する荒木隼人さん。長身を生かした空中戦や1対1での守備の強さを武器にし、日本代表経験もあるディフェンダーです。

小学生から地元のサッカースクールに通い始め、高校時代はサンフレッチェ広島ユースに所属。高校2年生では日本クラブユースサッカー選手権で準優勝するも、主将を務めた3年生では結果が残せず、チームからのJリーグ昇格者がゼロという結果に。大学ではサッカーにも勉強にも力を注ぐため、文武両道に定評のある関西大学へ進学しました。学業を通して、目標達成までに何をすべきかを論理的に考え、分析する力が付いたと言います。「ユースでチームをまとめられなかった悔しさをバネに、体育会サッカー部ではひたむきに努力しました」と荒木さん。4年次に主将になると、部内の全グループの練習に出向き、約250人の部員と顔を見て交流するように努めました。それにより全体ミーティングでは、各チームの状況を把握した上で戦略などを説明できるようになったそうです。多方面での努力が実り、サンフレッチェ広島への入団が内定。「入団前にチームの練習に帯同した際、守備力不足を実感し、コーチからステップを細かくするための練習メニューをいただきました。重点的にトレーニングに励んだことで、欠点を克服し、デビュー戦から活躍できました」。それでもデビュー戦は、ホームでの一戦だったこともあり、経験したことがないほど緊張。広島でまたプレーするという目標が達成でき、プロとしての自覚を持ってたと振り返ります。

目標とする選手は、今季から背番号4を受け継いだ水本裕貴選手。プレーはもちろん、練習前後の準備や自主練習など、さまざまな面で手本にしているそうです。モットーは練習も試合も常に全力を出しきり、責任感を持ってプレーすること。最後に「日本代表としてワールドカップに出場し、海外のチームでも活躍できる選手を目指します」と目標を語りました。

ある1日の
スケジュール

- 9:00 グラウンド到着
練習の準備
- 10:00 全体練習
- 11:30 自主練習
- 12:10 室内トレーニング
- 13:00 昼食
- 14:30 帰宅
- 15:00 読書、体幹トレーニング
など
- 17:00 自炊、夕食
- 20:00 ストレッチ 体のケア



必須アイテムは、体のケアに使う「HYPERVOLT」。

写真提供：サンフレッチェ広島

Football Player

VIVA!!

学び易



外国語学部 外国語学科

「専門演習」

田島 義士 准教授

「なぜ」という批判的精神を養い、 思考の幅と視野を広げる

自分の考えを言葉にすることで、人生が豊かになります。

田島義士准教授のゼミのテーマは、「フランス的思考とは何か」です。フランス人と日本人の習慣・文化を比較し、違いを多角的に考察しながら、視野の広げ方、思考や意見を言語化する方法を学びます。テーマについて深く学び議論を展開する中で、卒業論文のテーマを見だし、制作へとつなげていきます。

学生に身に付けてほしいのは、さまざまな意見を疑問視する批判的精神です。物事を違う視点で見ることにより、新たな発想が生まれます。自分と異なる意見を受け入れることで、どう自分の考えを展開し、物事を論じるのかという考え方の基礎を学びます。

ゼミではテーマに対して問いを立て、「正反合の弁証法」を使って考察していきます。芸術作品というテーマの場合、「芸術作品はいつも美しいものでなければいけないのか」という問いを提示し、初回は「美しい」という「正」の意見を出し、2回目は「美しいとは限らない」という「反」の議論を行います。最後に両方の意見を合わせて「芸術作品の美しさ」について考えを深めます。このような思考の展開を通し、学生一人一人に興味のあるテーマを探してもらおうと言います。

また、批判的精神を養ってほしいという思いから、意図的に日本の教育や制度に批判的な論文を読んでもらい、賛同できない理由を考えるように仕掛けてしていると話します。「学生が反対意見を述べる時は、先に相手に賛同できる点を伝えた上で疑問や反対意見を述べるよう指導しています。異なる意見も素直に受け入れられる、環境づくりが大切です」と田島准教授は語ります。

最後に「日常生活のささやかなことに疑問を持つと、物事をさまざまな視点で見ることができ、アイデアをどのような形で生かせるのかを考察できます。自分の言葉で考えを伝えることができれば、仕事の幅もきっと広がり、人生が楽しくなるはず」と締めくくりました。



都築遼太さん(3年次生)

ニュージーランドへの留学経験などからさまざまな国の文化を深く知りたと思うようになりました。田島先生のゼミでは、どんな意見でも否定されることなく、思考を深掘りしてもらえるので、肩の力を抜いて自由に発言できるのが魅力です。物事を深く考える習慣が身に付き、プロセスやアプローチの仕方などが学べます。異文化に興味があり、ディスカッションの実践を積みみたい方にお薦めです。

仙石絵莉香さん(3年次生)

これまで中国語を学び、SAプログラムで上海の華東師範大学にオンライン留学しました。学んできた東洋とは異なるフランス文化に触れ、視野を広げたいと思いこのゼミを選びました。ゼミでは、自分の意見を述べる機会が多く、異なる視点からの意見を聞けるので、良い刺激になっています。柔軟な思考と広い視野を身に付け、将来は海外に向けて日本の製品の魅力をアピールする仕事に就きたいです。

安全・防災のショーケース

—1,200人が学ぶ高槻ミュージズキャンパス—

関西大学には千里山、高槻、高槻ミュージズ、堺の4キャンパスがあります。10学部が集まる千里山キャンパスは話題も豊富ですが、他の3キャンパスにもユニークな特徴があります。今回は高槻ミュージズキャンパスを紹介します。



グラウンドのマンホール8個はトイレに変身



グラウンドのマンホール 8個はトイレに変身

高槻ミュージズキャンパスでは約1,200人の社会安全学部・研究科生が学んでいます。その名の通り、キャンパス内には安全、防災、危機管理などの施設が目立ちます。

例えばグラウンドに面した地面になんの変哲もないマンホールのふたが8個並んでいます。これは災害時にはトイレに変身します。マンホールのふたを外して便座や囲いなどを取り付け、トイレとして使うのです。下水道に直結し処理が簡単な点が評価されました。

同トイレは、2011年の東日本大震災の時に、東松島市の2カ所で約500人の避難者が利用。2016年の熊本地震でも熊本市内の避難所4カ所に設置され1カ月間使用されましたが、まだまだ普及の余地があり、大学内に設置されているのは全国でも珍しいケースです。

北館の巨大倉庫にある大釜は炊き出し用

北館の3階には25mプールほどの災害用の巨大倉庫が常設されています。ここにはキャンパスに避難してくる学生や市民のための食料品や各種資機材を備蓄しています。いつ起こるか分からない災害に備え、保存期間が25年もある食品や近隣住民用のオムツなども準備しています。また、数十人が入れる巨大な野外テントや大量の食料を調理できる器具も用意されています。中でも直径1mほどの大釜は、災害時だけでなく、キャンパス祭でも大活躍です。

キャンパス祭は毎年6月に開催。学生たちの研究やクラブ活動の成果が展示されるほか、地域振興を目的に高槻で採れた野菜や名物「うどん餃子」などの販売も行われます。圧巻は炊き出しランチです。災害時の協働体制を整えるべく地域の自治会と共助で取り組み、2016年はドイツ料理のアントプフを振る舞いました。ジャガイモ、ニンジン、タマネギ、ソーセージ、レンズ豆をたっぷり入れて煮込む典型的な家庭料理で、長蛇の列ができて1時間で無くなるほど好評でした。



数十人が入れる巨大な野外テント



西館展示室には抗菌ミストの噴霧装置

西館展示室には 抗菌ミストの噴霧装置

西館2階の展示室には、災害や事故を説明するさまざまな資料が展示されています。最近加わったのは据え付け型のアルコール噴霧装置です。抗菌剤を含んだミストが全身に噴霧されるもので、足元のスイッチを踏んで作動させ、マスクやメガネまで消毒できます。



北館の巨大倉庫にある大釜は炊き出し用

防災機器はメンテナンスが重要で、「トイレ」も定期的に組み立てて点検などを行っています。

学部・研究科・併設校トピックス

法学部／法学研究科

授業の取り方

そろそろ定期試験の勉強を始めなければいけない時期が近づいてきました。試験勉強は決して楽しいものではないでしょう。こんな時には、気分転換に、来学期にどの授業を受講するのかを考えてみるのもよいかもしれません。

関大法学部では、必修の科目はできるだけ少なくして、学生の関心に基づいて幅広い分野の授業を受講できるようなカリキュラムを設けています。「楽単」の科目を取るのもよいですが、こうしたカリキュラムの特徴を生かして、ぜひ自分自身が面白いと思えるような科目を探してみてください。(学生主任 若月剛史准教授)

政策創造学部／ガバナンス研究科

チェンマイ大学オンライン研修

政策創造学部では、2019年よりタイ北部の文化都市チェンマイに位置する国立チェンマイ大学で夏季英語研修を実施しています。本プログラムは、チェンマイ大学の学生たちと共に国際問題について議論をしながら語学力の向上を図ることを目的としています。残念ながら、本年は現地への派遣が叶わず、Zoomを使用したオンラインでの実施となりましたが、参加した9人の学生たちは、20日間にわたって、テーマであるSDGsについて英語で考え英語で議論する貴重な体験を積んできました。

(三枝憲太郎准教授)

文学部／文学研究科 東アジア文化研究科

キャンパスメンバーズ制度

京都国立博物館と奈良国立博物館のキャンパスメンバーズ制度を知っていますか。皆さんは学生証を提示すれば、常設展は無料で、「正倉院展」などの特別展は割引料金で観覧できます。

両館とも彫刻や絵画、工芸などの名品を多数所蔵しています。また建物は、明治時代の建造物(重要文化財)であり、こちらの見学もオススメです。展示品からは歴史や文化を身近に感じることができ、教養を深めることができますでしょう。ぜひ足を運んでみてください。

(学生主任 井上主税教授)

外国語学部／外国語教育学研究科

卒業プロダクト

毎年この時期になると、1年間の疲れを癒すことができる年末年始の休暇が待ち遠しくなりますが、同時に4年次生の卒業プロダクトの進捗状況にヤキモキしてしまいます。春・秋学期を通して執筆を続け、ほとんどの皆さんは順調に進んでいることは分かっているのですが、学びの集大成となる卒業プロダクトの完成をサポートする教員としては、提出完了までハラハラしてしまうこともあります。ですがその分、完成したプロダクトを読む際の充足感は格別です。

(阿南順子教授)

経済学部／経済学研究科

ゼミ大会と卒論提出、そしてGoLD

今年も12月がやってきました。いよいよゼミ大会(1日)、卒論提出(13~20日)など、学生の皆さんも大忙しのひと月ですね。GoLDの短期留学に行けなかった今年は、台湾の大学とオンラインで結んだりモートの交流プログラムも実施されます。

年末を何かの締切のように思うと落ち着かないけれど、次のフェーズに向かうための里程碑だと思って前進できたらうれしいですね。充実した今を、より良い新年につなげていきましょう!

(副学部長 北波道子教授)

人間健康学部／人間健康研究科

オンラインと身体

教育のオンライン化が進む中で、逆に明らかとなってきたのが身体的重要性です。「共在感覚」という同じ空間を共有しながら誰かと共にいる感覚が学びにおいては大切なことが分かってきました。「何を学ぶのか?」ではなく「誰と学ぶのか?」です。私たちは「場」を共有することで直接言葉を交わさなくてもそこにいる人の存在を感じ取っています。集中力や好奇心は身体的に伝染し共有されます。その一緒に学ぶ隣の人の存在が私たちの学びを促進しているのです。

(小室弘毅准教授)

システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部／理工学研究科

より良い新年を願って

コロナ禍で迎える2度目の年末です。自粛やワクチン接種によりおぼろげに先が見えてきた感はあるものの、依然として学生・院生の皆さんには多大な忍耐を強いる年度でした。

理工系3学部では実験・実習・フィールドワークによって触れる学びが大きなウエートを占めるため対応に苦慮するところですが、不幸中の幸いにしてIT技術の進歩によって学びを継続できていますが、私の学生時代のような紙ベースの時代であればお手上げであったことが容易に想像できます。このような不安な状況の中で「考動」する学生・院生の皆

さんに敬意を表すとともに教員一同でできる限りのお手伝いをしていきます。

学生の皆さんは就職活動がどうなるかにも関心があると思います。キャリアセンターでは、理工系学生に親身に寄り添う理工系事務室を開設しており、オンライン・対面ともに多くのガイダンスやセミナーを行って皆さんの就職活動を支援しています。保護者の方々向けの各種懇談会については残念ながら中止となりましたが、昨年度に引き続き「大学教育(学部)の現状と就職に係る説明会」をウェブ配信にて行いました。

研究室活動について、理工系3学部では各学期に「安全衛生週間」を設けており、研究室の安全点検・巡回に加えて、オンラインでの事故防止啓発の講演会も行っています。対面での実験に慣れていない学生が多い中で、卒業研究でばたばたする時期になります。ついうっかりということも起きやすくなります。この機会に安全管理について見直し、無事により良い新年を迎えられるように準備しましょう。

(システム理工学部 神吉雅崇准教授)

各学部・研究科・併設校のさまざまな活動や取り組みなど、トピックスや皆さんへのメッセージをお届けします。

商学部／商学研究科

英語でビジネスが学べるBestA

商学部では、イギリスのヨーク大学に4週間滞在しながら、英語を学ぶだけでなく、英語でビジネスを学ぶ、そしてイギリスのビジネスの現場を実際に体験する、という現地滞在・体験型プログラムBestAを実施しています。イギリスの学生や留学生との交流プログラムが含まれていることも魅力の一つです。長期間学びたい人のために1学期コースも準備しています。2021年度はCOVID-19の影響により中止になりましたが、現在、2022年度実施に向けてリニューアル中です。

(辻美枝教授)

総合情報学部／総合情報学研究科

総情卒業生が大活躍。「神在月のこども」公開!

総合情報学部6期生の四戸俊成さんが原作・コミュニケーション監督として製作された映画「神在月のこども」が、去る10月8日に公開されました(全国ロードショー)。

モントリオール国際リース賞映画祭2021でも主要5部門にノミネートされており受賞が期待されています。これほど大きなスケールの映画を作り上げるには、並々ならぬご苦労があったかと思います。卒業生の大活躍を心より喜ぶとともに、今後のさらなるご活躍をお祈りいたします。

(学部長 名取良太教授)

社会学部／社会学研究科

答えがない時代の学び

学生の皆さんは、「大学での学びは高校までとは違い、正解がない」と何度か聞いてきたと思います。そうはいつでも、すでにある知識や学説を覚えたりする授業も多いと思いますが、それらは「絶対的な真実」としてのみにするのではなく、新しい価値や情報を生み出す参考のために学んでいると思いませんか。昨今は、ますます「正解がない」時代。古い知識のお勉強というより、新しい世界を自分で切り拓く力を身に付けることにワクワクしながら、日々の学びを深めていってほしいと思います。

(副学部長 福島宏器教授)

社会安全学部／社会安全研究科

博士論文公聴会を開催しました

9月13日に博士論文公聴会が開催されました。今回、発表した学生は、社会安全学部に入学期後、そのまま社会安全研究科に進学して研さんを積み、博士号まで取得した最初の学生になります。社会安全学部・社会安全研究科の歴史に新たなページを刻んだ、記念すべき日となりました。



(河野和宏准教授)

会計専門職大学院

会計専門職の仕事

会計専門職大学院では「会計専門職」を養成しています。その仕事は「財務諸表」の作成と公表に関わるものです。企業内で「財務諸表」を作成し納税する仕事、「財務諸表」が正しいかを検証(公認会計士)、税金計算をアドバイス(税理士)、「財務諸表」を投資家等に説明(IR)、業務全体の統制・管理(CFO)、「財務諸表」を分析し投資などに利用(証券アナリスト)する仕事があります。「会計」という共通の高い専門性に加え、各分野の専門性が必要で、その教育を行っているのが会計専門職大学院です。

(副研究科長 岡岡徹教授)

関西大学第一高等学校

社会安全学部連携セミナーを行いました

9月9日、社会安全学部のご協力のもと、高校1年生を対象にZoomを用いて学部紹介とデモ講義を実施しました。まず永松先生から、安全には衛生、経済など多岐にわたる分野に関連性があり、それが安全学の学問としての魅力であることを話され、次に、奥村先生より「避難を科学する」というテーマで、実際に災害が起こった時、犠牲者をいかに減少させるかという現状の課題と、その取り組みを示されました。

生徒たちは2018年に大阪北部地震を経験し、現在はコロナ禍にあります。身近な内容であるため、真剣に聞き入っていました。これを機に、一人一人が安全を意識した生活を送ってほしいと願うばかりです。(井上雄也教諭)

Attention 大学からの重要なお知らせ

試験対策をしっかりと立て、1年間を有意義な結果で締めくくりましょう。

「定期試験(筆記試験)」「到達度の確認」の注意事項・受験心得

- ① 学生証は必需品!**
学生証がない場合は、試験を受験できません。
○紛失した場合:再発行の申請
教務センターまたは各キャンパス事務室にて。
○試験当日に忘れた場合:「受験許可証」の申請
教務センター、各学舎授業支援ステーションまたは各キャンパス事務室にて。
- ② 遅刻は厳禁!**
授業も試験も遅刻は厳禁。受験できない場合もあります。また、交通機関の遅延など、不測の事態にも対応できるように早めの通学を心掛けてください。
- ③ 「試験システム」をチェック!**
通常授業と教室が異なったり、同じ科目でも学籍番号によって、教室が分かれている場合があります。事前に「試験システム」の確認を忘れずに。
○学籍番号・氏名を記入するため、ボールペンは必須です(ただし、消せるボールペンは使用不可)。
○携帯電話・スマートフォン、ウェアラブルデバイス等は時計として使用できません。
○マークシート試験では、自身の学籍番号コード(10桁)の記入が必要です。
- ④ 不正行為には厳正に対処します!**
不正行為をした場合は、秋学期試験ですでに受験した科目は全て無効になり、残りの科目も一切受験できません。また、答案の持ち帰り、故意に学籍番号・氏名を偽った場合も不正行為と見なされます。
- ⑤ 病気など正当な理由で受験できない場合は...**
医師の診断書など証明書がある場合は、「追試験」「到達度の認証」に相当する学力確認を受けることができます(1科目につき、受験料1,000円)。
教務センターまたは各キャンパス事務室で手続きしてください。

その他不明な点がある場合は、教務センターまたは各キャンパス事務室までお問い合わせください。

第44回関西大学統一学園祭を開催

10月31日から11月3日まで、第44回統一学園祭を開催しました。今年も、新型コロナウイルスの影響により規模を縮小して、YouTubeやInstagramを活用したオンライン形式での開催となりました。今年のテーマは「CENTER～僕らが作る新時代～」。このテーマには、新しいことを見つけ出し、現状を変える力により、一人一人が中心となって新しい感動を作り上げていくという決意が込められています。



M2gk Fashion Show 2021 "Happiness Flower"



ライブ局「関大音楽フェス」



関西大学学生チーム「漢舞」



漫画同好会

よもやまばなし
関大人 四方山話 ◆「今しかできないことを全力で」 総務課 松下 堅一郎



この時期になると、皆さん口をそろえて、「もう12月か、今年も早かったな」と言うのではないのでしょうか。私も無意識にそう言っているうちの一人かもしれません。私は入職して3年目になりますが、学生時代よりも時間の流れを早く感じるようになりました。

その影響で、私は今しかできないことを第一に考える行動選択を日々心掛けています。学生時代、アメリカンフットボールに打ち込んでいた私はチームメイトと目標に向かって共に汗を流しました。その4年間は人生の中でも最も成長できた時間です。このよう

な貴重な時間を、今後もう一度経験したいと思うと同時に皆さんにも経験してほしいと思っています。今はコロナ禍でさまざまな制限の中での活動となるため、思い通りの活動ができていない方もいるかもしれません。ただ、人生や大学生活は一度きりです。今したいこと、すべきことを全力でやりましょう。そうすればおのずと心が明るくなり、前向きに過ごせると思います。

まずは、今年の残り1カ月を全力で過ごし、良い形で今年を終えましょう。

「2021年度関西大学博物館実習展」を開催

千里山キャンパスの関西大学博物館で、11月8日から13日まで「2021年度関西大学博物館実習展」を開催しました。

この実習展は、学芸員を目指す学生たちが主体となり、企画から資料の収集・展示・パンフレットの作成までを行い、展示しているものです。

今年のテーマは、「きつね 人と狐の不思議な歴史」「天保山 浪花の新名所」「戦時下の日常 戦争遺品が語る人々の暮らし」「音楽ナウ 思い出再生中」「発見! こんなところに和楽器 埴輪から漫画まで」の5つです。

コロナ禍の中での新しい試みとして、スマートフォンで二次元バーコードを読み取り、それぞれの展示を担当する学生の解説が聴けるという取り組みを行いました。



「KU Library thinks SDGs 2021」を開催中

関西大学図書館では、KANDAI for SDGs推進プロジェクトと連携して、図書館の特性を生かした取り組み「KU Library thinks SDGs」を2019年度から開催しています。

今年度は「Academic」「Librarian」「e-books」「Hometown」という4つのアプローチからSDGsの達成を支援する取り組みを行っています。

主な催しは、学部横断型科目「SDGs入門」の担当教員による推薦図書を中心に、17の目標を達成するためのヒントとなる本の展示や秋学期企画展「考える。大阪・関西万博×SDGs」の開催で、いずれも千里山キャンパス総合図書館にて実施しています。また、図書館ウェブサイト上での特設ページの設置なども行っています。

開催期間は2022年1月31日(月)までですが、一部日程が異なりますので、関西大学図書館ウェブサイトでご確認ください。

詳細はこちら▶



編集後記

There were a number of themes that emerged from the stories in this edition. These themes included perseverance, change, innovation, and progressive thinking. As the world now moves into a new era of living with COVID-19, we can expect further changes to the way we live our lives. However, we can be successful in the future if we are determined, collaborative, and open-minded. I hope that our students will practice and develop these values as they become leaders and active participants in this new era.

(Associate Professor Todd James Allen, Faculty of Foreign Language Studies, Public Relations Committee member)



関西大学通信 “KANDAI STYLE”

発行日:2021年12月1日

発行:関西大学広報委員会

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

電話:06-6368-1121 (大代表)

関西大学は2022年に大学昇格100年を迎えます

今月の表紙

カメラマン:熊博毅さん

第1学舎4号館の南面2階、3階、4階の窓にはデザインと色彩が異なるステンドグラスが入っています。太陽の位置が下がってくる11月、晴れた日の正午前後にはステンドグラスが床のカーベットを美しく染め上げます。見慣れた景色も、目線の向きを少し変えるだけで新たな発見につながります。キャンパスの建物が魅せるさまざまな「美の表情」を探ってみませんか。

感染拡大予防策を講じた上で、取材や制作を行っています。